

開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	父	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2019	4	ダノンファンタジー	7	458	1	2.2	17	ディーブインパクト	リファール系	Not For Sale	カロ系	ニアークティック系
良	11	ビーチサンバ	6	474	6	16.0	17	クロフネ	フェアウエイ系	サンデーS	サンデーS	ミスプロ系
瞬発	8	ウイクトーリア	6	466	2	4.3	17	ヴィクトワールピサ	ミスプロ系	ウォーエンブレム	ミスプロ系	ミスプロ系
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	父	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2018	13	カンターピレ	5	434	5	9.3	17	ディーブインパクト	リファール系	Galileo	サドラーズ系	ノーザンD系
良	5	サラキア	5	450	2	4.2	6	ディーブインパクト	リファール系	Lomitas	ニジンスキー系	デインヒル系
瞬発	4	ラテュロス	9	418	13	88.2	5	ディーブインパクト	リファール系	Touch Gold	ヴァイスR系	ダマスカス系
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	父	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2017	14	ラビットラン	4	444	8	26.4	8	Tapit	ファビアーノ系	Dixieland Band	米国型ND系	レイズアN系
良	16	カワキタエンカ	6	462	6	21.4	5	ディーブインパクト	リファール系	クロフネ	ヴァイスR系	フォーティーン系
持続	6	リスグラシュー	7	436	3	6.3	17	ハーツクライ	グレイS系	American Post	ネイティヴD系	ネヴァーB系
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	父	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2016	7	シンハライト	5	436	1	1.6	17	ディーブインパクト	リファール系	Singspiel	サドラーズ系	ハイペリオン系
重	1	クロコスミア	10	414	11	77.6	21	ステイゴールド	ファイントップ系	ボストンハーバー	ポールドR系	ブラッシングG系
持続	3	カイザーバル	7	470	6	20.8	7	エンパイアメーカー	ノーザンD系	サンデーS	サンデーS	ニジンスキー系
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	父	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2015	15	タッチングスピーチ	5	460	7	12.2	6	ディーブインパクト	リファール系	Sadler's Wells	サドラーズ系	ネヴァーB系
良	8	ミッキークイーン	5	438	1	2.6	17	ディーブインパクト	リファール系	Gold Away	スレイエフ系	ミスプロ系
持続	13	トーセンビクトリー	7	454	2	6.4	4	キングカメハメハ	ノーザンD系	サンデーS	サンデーS	スレイエフ系

外回りコースの1800mという事で、  
阪神開催ではディーブインパクトが最強種牡馬でした。

ただ、4年ぶりの阪神開催であり、  
ディーブインパクト産駒が絶えた今となつては、  
コースの血統傾向を把握しておきたいところがございます。

特にディープ系種牡馬は要チェックでございましょう。  
※血統データの詳細は、「血統データ」のページをご覧ください。

ディープ産駒以外で馬券に絡んだ馬の配合は、  
母父が米国型であるという傾向がみて取れます。  
※リスグラシューは母父欧州型  
※サンデーサイレンスは米国型として扱います。

阪神芝1800m種牡馬データ(過去3年)

ディープ系種牡馬成績一覧						
種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
<b>キズナ</b>	11- 9- 8- 66/ 94	11.7%	21.3%	29.8%	<b>252</b>	<b>118</b>
シルバーステート	4- 2- 3- 20/ 29	13.8%	20.7%	31.0%	43	55
<b>リアルスティール</b>	3- 0- 0- 14/ 17	17.6%	17.6%	17.6%	47	21
ワールドエース	2- 3- 0- 18/ 23	8.7%	21.7%	21.7%	85	46
サトノダイヤモンド	2- 0- 1- 5/ 8	25.0%	25.0%	37.5%	77	33
ミッキーアイル	2- 0- 0- 3/ 5	40.0%	40.0%	40.0%	240	48
ディーマジェスティ	1- 1- 2- 4/ 8	12.5%	25.0%	50.0%	56	<b>196</b>
エイシンヒカリ	1- 0- 0- 10/ 11	9.1%	9.1%	9.1%	73	24
サトノアラジン	1- 0- 0- 5/ 6	16.7%	16.7%	16.7%	155	35
ディープブリランテ	0- 4- 0- 18/ 22	0.0%	18.2%	18.2%	0	30
ダノンバラード	0- 2- 1- 8/ 11	0.0%	18.2%	27.3%	0	<b>184</b>
トーセンホマレボシ	0- 1- 0- 10/ 11	0.0%	9.1%	9.1%	0	30
リアルインパクト	0- 1- 0- 4/ 5	0.0%	20.0%	20.0%	0	146
トーセンラー	0- 1- 0- 3/ 4	0.0%	25.0%	25.0%	0	70
<b>スピルバーグ</b>	0- 0- 1- 6/ 7	0.0%	0.0%	14.3%	0	47
ヴァンセンヌ	0- 0- 0- 3/ 3	0.0%	0.0%	0.0%	0	0
<b>グレーターロンドン</b>	0- 0- 0- 1/ 1	0.0%	0.0%	0.0%	0	0
ヴァンキッシュラン	0- 0- 0- 1/ 1	0.0%	0.0%	0.0%	0	0

※種牡馬名赤文字は、今年のローズSに産駒が出走する種牡馬。

最も出走数が多く、なおかつ期待値が高いのは「キズナ産駒」です。

今年は同産駒が4頭エントリーしていますので、注目したいと思います。

ディープ系種牡馬の母父系統別成績一覧						
母父の系統	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
<b>ゴーンウエスト系</b>	4- 2- 1- 3/10	<b>40.0%</b>	<b>60.0%</b>	<b>70.0%</b>	<b>1545</b>	<b>353</b>
<b>ブラッシングG系</b>	4- 1- 1- 6/12	33.3%	41.7%	50.0%	59	74
<b>ストームバード系</b>	7- 5- 4-20/36	19.4%	33.3%	44.4%	53	67
<b>ミスプロ系</b>	8- 5- 7-26/46	17.4%	28.3%	43.5%	59	74

キングマンボ系	6- 4- 7-34/51	11.8%	19.6%	33.3%	110	88
ファピアノ系	2- 0- 3-10/15	13.3%	13.3%	33.3%	38	86
サドラーズ系	3- 4- 2-20/29	10.3%	24.1%	31.0%	281	114
ヴァイスR系	6- 6- 0-30/42	14.3%	28.6%	28.6%	101	47
カロ系	1- 1- 2-10/14	7.1%	14.3%	28.6%	94	78
ロベルト系	1- 4- 2-18/25	4.0%	20.0%	28.0%	15	96
デインヒル系	4- 1- 1-16/22	18.2%	22.7%	27.3%	97	49
フォーティーN系	2- 3- 1-16/22	9.1%	22.7%	27.3%	26	88
ブランドフォード系	1- 2- 0- 8/11	9.1%	27.3%	27.3%	77	56
Dサンデー系	1- 2- 0- 8/11	9.1%	27.3%	27.3%	24	51
ダンチヒ系	0- 2- 2-11/15	0.0%	13.3%	26.7%	0	48
APインディ系	2- 2- 0-13/17	11.8%	23.5%	23.5%	58	40
ヌレイエフ系	2- 0- 0- 8/10	20.0%	20.0%	20.0%	155	63
リファール系	0- 1- 0-10/11	0.0%	9.1%	9.1%	0	19

ゴーンウエスト系、サドラーズ系との配合がコースの穴配合となっております。

キズナ産駒の母父系統別成績一覧						
母父の系統	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
ゴーンウエスト系	2- 0- 0- 1/ 3	66.7%	66.7%	66.7%	4780	906
カロ系	0- 1- 2- 4/ 7	0.0%	14.3%	42.9%	0	107
サドラーズ系	0- 1- 1- 3/ 5	0.0%	20.0%	40.0%	0	66
フォーティーN系	0- 0- 0- 1/ 1	0.0%	0.0%	0.0%	0	0

データ数は少ないですが、母父ゴーンウエスト系の回収期待値が非常に高く、これはディープインパクト×ゴーンウエスト系の配合と共通します。

また、カロ系やサドラーズ系等の欧州血統との相性の良さもディープインパクトと共通する点であり、当コースにおいてディープインパクトの適性を、最もよく受け継いでいるのは、キズナだと考えられます。

その他の種牡馬別成績一覧

種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
ハーツクライ	13- 10- 10- 91/124	10.5%	18.5%	26.6%	82	86
ドウラメンテ	8- 11- 12- 50/ 81	9.9%	23.5%	38.3%	76	97
エピファネイア	8- 10- 9- 64/ 91	8.8%	19.8%	29.7%	126	69
ロードカナロア	8- 7- 3- 79/ 97	8.2%	15.5%	18.6%	39	46
ルーラーシップ	6- 13- 6- 64/ 89	6.7%	21.3%	28.1%	45	76
ジャスタウェイ	5- 3- 1- 34/ 43	11.6%	18.6%	20.9%	75	65
ダイワメジャー	2- 2- 1- 31/ 36	5.6%	11.1%	13.9%	50	38
キタサンブラック	1- 1- 1- 14/ 17	5.9%	11.8%	17.6%	123	72
イスラボニータ	0- 1- 1- 12/ 14	0.0%	7.1%	14.3%	0	16

ディープインパクト産駒が走りやすいコースでは

ドウラメンテ産駒も良く走ります。

複勝回収期待値も、昇級戦期待値も比較的高い種牡馬ですので、

連勝中の産駒には、ディープ同様に要注意でございます。

【阪神開催のローズS過去5年脚質・前走データ】

開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上3F	3順	前走				人	順	脚質	3順
2019	4	ダノンファンタジー	7	458	1	2.2	17	1.44.4	7	5	33.1	1	G1	東京	芝	2400	4	5	中団	8
良	11	ビーチサンバ	6	474	6	16.0	17	1.44.4	2	1	33.4	4	G1	東京	芝	2400	9	15	中団	14
瞬発	8	ウイクトーリア	6	466	2	4.3	17	1.44.4	4	3	33.3	2	G1	東京	芝	2400	6	4	追込	2
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上3F	3順	前走				人	順	脚質	3順
2018	13	カンタービレ	5	434	5	9.3	17	1.45.7	2	1	33.6	4	G1	東京	芝	2400	7	13	先行	15
良	5	サラキア	5	450	2	4.2	6	1.45.9	9	8	33.4	3	1勝	小倉	芝	1700	1	1	マクリ	1
瞬発	4	ラテュロス	9	418	13	88.2	5	1.46.0	5	7	33.6	4	2勝	札幌	芝	2000	3	4	逃げ	6
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上3F	3順	前走				人	順	脚質	3順
2017	14	ラビットラン	4	444	8	26.4	8	1.45.5	13	13	33.5	1	1勝	中京	芝	1600	4	1	追込	1
良	16	カワキタエンカ	6	462	6	21.4	5	1.45.7	1	1	35.1	13	2勝	新潟	芝	1800	3	2	逃げ	4
持続	6	リスグラシュー	7	436	3	6.3	17	1.45.8	13	15	33.7	3	G1	東京	芝	2400	3	5	中団	5
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上3F	3順	前走				人	順	脚質	3順
2016	7	シンハライト	5	436	1	1.6	17	1.46.7	11	10	33.7	1	G1	東京	芝	2400	1	1	追込	1
重	1	クロコスミア	10	414	11	77.6	21	1.46.7	1	1	34.6	4	G2	東京	芝	2000	8	14	先行	14
持続	3	カイザーバル	7	470	6	20.8	7	1.46.8	4	4	34.4	2	2勝	札幌	芝	1500	1	6	中団	5
開催	番	馬名	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上3F	3順	前走				人	順	脚質	3順
2015	15	タッチングスピーチ	5	460	7	12.2	6	1.45.2	16	15	33.9	2	1勝	札幌	芝	2000	4	1	追込	1
良	8	ミッキークイーン	5	438	1	2.6	17	1.45.4	17	17	33.8	1	G1	東京	芝	2400	3	1	差し	1
持続	13	トーセンビクトリー	7	454	2	6.4	4	1.45.6	13	9	34.6	3	2勝	小倉	芝	1800	1	1	先行	1

前走で前に行っていた「持続型・持久力型」の配合馬に注目です。

18年のカンタービレは、母父がサドラズ系の持久力型。

同年3着のラテュロスは、母父米国型で、祖母父がダマスカス(持続血統)

17年カワキタエンカは、母父米国型、祖母父フォーティナー(持続血統)

16年のクロコスミアは母父ボールドルーラー系(持続血統)

15年のトーセンビクトリーは母父サンデーサイレンス。

また、逃げるか、番手追走した馬が4頭連対しておりますが、その4頭は全て5人気以下の人気薄でした。

外回りコースなので、前残りに無警戒になりやすいのでそこは十分に警戒しておくべきでございましょう。

## G2ローズS 2023「全頭診断書」

馬番	馬名	評価	コメント
1	フォーチュンコード		小回り・内回りタイプ。 スピルバーグ×ミスプロ系の配合も小回り向きの配合。
2	ソーダズリング	△	牝系ファミリーの中で、唯一重賞活躍馬を複数出すソーマジックの直系。 特に3歳重賞に強い家系で、本馬自身もフローラSの2着馬。 父ハーツクライはコースの上位種牡馬。
3	レミージュ	注	キズナ×ゴーンウエスト系の配合はコースの爆穴配合。 勝率40%単回率1545%、複勝率70%複回率353%
4	アリスヴェリテ		キズナ×カロ系の配合馬で、血統的な魅力は十分ですが、 1勝クラスを勝てていない事がネック。
5	プレイディヴェーグ	○	ロードカナロア×ディープの配合は当コースに勝ち星なし。 血統の字面からは買にくいですが・・・母の全妹ミッキークイーンは 牝馬2冠馬で当レースの2着馬。この馬は常に基準タイム以下の 好時計で勝ち負けしており、時計勝負ならメンバー最強と呼べる存在。
6	ラファドゥラ	★	ドウラメンテの牝馬はコース複勝率46.3%回収率130%。 ディープインパクトが走りやすいレースはドウラメンテ産駒も走ります。 また昇級戦に強いところもディープインパクトと共通する種牡馬。 ですので厳重な警戒が必要。牝系は米国のG1牝系で、 一族には種牡馬ドレフオンの名前も。 父が欧州型の場合は米国牝系との配合が走りやすいレース。 母のアファダリはサドラーズ系シングスピール産駒ですが、芝は走らず ダート短距離で3勝しておる点に、米国牝系の影響の強さが出ています。
7	ラヴェル	注	桜花賞・ローズS勝ち、秋華賞2着馬キョウエイマーチの牝系で、 半姉にオークス3着、秋華賞2着のナミュール。 母の半妹マルシュロレーヌは米国のG1BCディスタフ優勝馬。 母系に当レースの重要血統ヴァイスリージェントを持っており、 馬喰の調教評価イチオシ馬。 現3歳世代で唯一リバティア일랜드を負かした馬。 キタサンブラック産駒は当コースはあまり相性が良くないですが、 牝系のスケールと実績を考慮して馬券には入れておきたい存在。
8	ユリーシャ		グレーターロンドン産駒の牝馬は短距離指向が強クマイル以下がベター。
9	アンリーロード	○	1800m巧者のリアルスティール産駒(ディープ系)。 自身も1800mは2戦2勝。牝系ファミリーには、母の全兄である 種牡馬トーセンジョーダンを筆頭に、母の半兄トーセンホマレボシ、 本馬の従兄弟に海外G1を2勝したトーセンスターダム、 オールカマー優勝のセンテリユオ、1800重賞の鬼ヒストリカルなど、 牝系ファミリーの1800m重賞成績は勝率21.2%単回率133% 複勝率51.5%複回率152%と言う距離巧者の一族。

			しかも3歳に限定すると複勝率は67%にまで上昇します。 ディープ系×欧ナスルーラの配合は【6・1・2/18】で複勝率50% 血統で買うならこの馬。
10	マラキナイア		ジャスタウェイの牝馬は当コース相性最悪。
11	ココナツブラウン	×	母の半姉ブロードストリートは、阪神開催のローズS優勝馬。
12	マスクトディーヴァ		パワータイプの牝系で、ダート中距離重賞活躍馬か、 芝重賞では短距離路線に向く傾向。 本馬自身、土塊が飛ぶ「掘れる馬場」の両馬場で2勝しており、 今の軽い馬場は合わない可能性が高そう。
13	リサリサ		Pサンデー系×タイキシャトルの配合は1600m以下に特化した 距離適性をもたらすスプリンター配合。 1800mの重賞では手を出しづらい印象。
14	コンクシエル	▲	ディープ系×サドラズ系の注目配合馬で、 前走は2勝クラスを逃げて大差勝ち。持久力型血統の前走先行馬。 牝系ファミリーは3歳の夏から秋に完成を迎える一族で、 1800m適性の高い牝系。連勝中の瑠星騎手を降ろしてまでの モレイラ様起用に陣営の本気度が滲みます。
15	ブライトジュエリー		エピファ産駒の牝馬はまずまず走りますが、気になる点が2つ。 一つ目は阪神開催の過去年で、4L系統にロベルトの血を持つ馬が 1頭も馬券に絡んでいない事。 もう一つは、本馬のあからさまなステイヤー体型。 前走で中京2200mを勝っておりますが、ステイヤーが強いコース。 今回2Fの距離延長と、初めてのワンターンコースがどうか？
16	トリオンファルマン	☆	持続力強化血統を母系に持つ前走先行馬でキズナ産駒。 全姉は昨年のローズS3着馬(中京開催)。要警戒。
17	セーヌドゥレーヴ		この牝系ファミリーは、父の距離適性を反映しやすい傾向があり、 父がPサンデー系の本馬の場合、距離延長がプラスになるかどうか疑問